

新潟に行ってきました。新潟といえば米どころなので、日本酒が美味しいですね。日本酒をいただきに新潟駅より少し離れた古町通りを歩いていると、とある物がひとつ、ふたつ、みつと並んでいました。それに気付いたところでもう一度ふたつ目、ひとつ目と戻り、顔を近づけてみました。それは見覚えのあるもので、昔懐かしさに日本酒を呑む前からほろ酔いし…と言うとちょっと大袈裟ですが、ただ懐かしい。

というわけで調べてみると、そこが通称“ドカベンロード”正式名称は『水島新司まんがストリート』と呼ばれる場所だと分かり、たまたま発見したってところも何となく嬉しさ倍増でした。とくに銅像推しというわけでもないのですが、路地裏なんかは古町というだけあり昭和の香りがして風情があつてとてもいいところでした。

あとは美味しい新潟のお酒をいただくだけということで、路地裏あたりの蕎麦屋を探してみました。

東日本物流センター 東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)

皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は愛知県常滑市にある盛田味の館を紹介いたします。常滑は常滑焼などが有名ですが、ここは酒類・醤油・調味料・味噌を製造する醸造会社・盛田株式会社の企業博物館です。

盛田と聞いてお気づきの方もいらっしゃるかもしれませんが、この第15代当主があつたソニー創業者の盛田昭夫さんです。

館内は醸造蔵を改装した施設で、酒・味噌・醤油の製造工程をビデオで紹介していたり、15代当主の盛田昭夫記念館が常設されていたりします(醸造蔵にソニー創業者の記念館とは、変わった雰囲気がありますが)。醸造蔵内の施設では、利き酒スペースや食事スペースがあり、田楽などの食事ができるようになっています(私はオススメとなっていた、たまりしょうゆソフトクリームを食べました)。また併設の盛田昭夫記念館の方は、盛田とソニーにまつわる昭夫さんの功績等について写真やビデオで紹介されており、昭夫さんの愛用品なども展示されています(個人的には、こちらの方が興味深かったです)。

知多半島方面へお出掛けの際には、足を運ばれてはいかがでしょうか。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

KOYORAD

世界の拠点から
-From the base in the world-



先月、北海道にしては30度近い気温となる日があり、季節はずれの陽気でした。

そんな中で今年も『札幌ラーメンショー2019』が開催され3年連続で行ってまいりましたのでレポートさせていただきます。大通り公園にて2週間に渡り合計20店舗の出店でした。最近では年齢のせいなのか2杯以上は厳しいので厳選した結果、まず1杯目は『えびそばえび助』で今流行りの海老醤油そばをいただきました。こちらは宮城県のレストランで魚介系好きの私の中では一推しです。

2杯目に『ドウエイタリアン』の塩チーズ・らぁ麺フロマージュを選択したところ初めての味でした。塩ラーメンにチーズが溶け込み、チャーシューではなく生ハムとおしゃれな一杯でこれがまた意外な事に合うんです。普段なら手を出さない系ですがラーメンショーだからこそ一杯でした。

そういえば若い女子が多く来ているのは意外と思いつつ見ていると全員が同じトートバッグを持っていることに気がきました。よく見るとARASHI『嵐』、そういえば札幌ドームで3日間嵐のコンサートだったと気が付き納得してしまいました。

来年もラーメンショーのレポートを楽しみにして下さい。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

6月28日、29日はG20大阪サミットがありました。サミットの内容はさておき、大阪市内は1ヶ月前から交通規制の話で持ちきりでした。私も最初は大ききさと思っていたのですが、G7やG8と違い要人の人数も相当となり、日本初のG20と言われていたので大阪府警も威信を掛けてテロ対策を行いました。

市立の小中学校などは6月27日より休み。運送事業者にも運行調整の通達があったので、大阪の運送会社でも4日間休業のところもありました。大阪府警以外に全国から30,000人ほどの警察官の応援も呼び、警護や検問など集中して行ったとの話。

実際、何日も前に九州地区の県警パトカーを数台見たり、その後関東方面のバスの行列を見たりと、ああ日に日に近づいてきたと思う様に。大阪府警の「車はあかん！今日は大阪サミットや」の合言葉もTV・ラジオでガンガン流れ、阪神高速も一部除き4日間通行止めにするので一般道はパニックになるとの話がこちらで聞かれましたが、合言葉が効いたのか逆にいつもよりクルマが少なく、通勤はいつもより楽でした。ある意味では大阪がもっとも安全な4日間でしたね。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

先月の暑さから一転、梅雨時期らしい日々が続いていますが皆さまいかがお過ごしでしょうか。繁忙期に向け気合を入れて頑張らしましょう！

さて、ここ最近ですが次男の部活の応援に行く機会が増えております。その次男ですが、元々、身体も人一倍小さい子でスポーツ自体も疎遠がち。たまたま、私が中学時代にバスケットボールをしていたということがきっかけで始めたわけですが、そもそも、次男自身が部活を一生懸命にやっているようなことを聞いたことがなく、また、私が応援に来ること自体も拒まれていたために足が遠のいていました。

ですが、ゴールデンウィークに親同伴の合宿に参加してから、意外に本人が真剣に部活に打ち込んでいること、また私の知らない青年としての強い一面も見ることが楽しく、時間があれば釣り…ではなく応援に行くようになりました。

その部活も中学最後の大会が迫っており、毎週末、他校との練習試合です。スターティングメンバーに入れるか入れないかの瀬戸際のようなのですが、私に似ていかんせんアピールが下手(泣)大事な一面でミスを連発する姿もあり、応援に行っている私も一緒になって凹んでしまう始末です。しかしそんなことにもめげず、コート内を誰よりも走り回る姿、小さい身体で自分よりも大きい相手に挑んでいく姿、ベンチに下げられて悔しそうに歯を食いしばっている姿を見て、改めて「大きくなったなあ」と、また私自身も「めげずに頑張らないと！」と思うようになりました。

残すところあと数試合かもしれませんが、しばらくは応援に通い続けながら子供の成長を楽しみたいと感じた今日この頃でした。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

近年、ジャカルタに住む高校3年の学生達は、間近に控えた大学受験のため、猛勉強をする傾向が強くなっています。

朝早くから15時頃までは高校に通い、その後は大学受験のための勉強です。勉強する場所は通常予備校で、週2~3回、夜19時までです。予備校は月曜日から金曜日まで開校していますが、最近では土日も勉強している学生が多くなってきています。土日の場合は友達同士で何人かのグループを作り、コーヒーストック(スターバックスなど)で朝から夜までずっと勉強しています。時給を払って教師を雇う学生達もいます。

我が家の一番下の娘も高校3年生で、勉強漬けの日々を過ごしています。土日も入れてほとんど毎日、帰ってくるのは22時~23時頃です。勉強しすぎじゃないのと注意したこともありましたが、彼女から色々な言い訳をされ、最終的にやめさせることはできませんでした。念のため土日の勉強中の雰囲気や場所などを確認しに行ったこともありましたが、5~10人ぐらいのグループで、教師と一緒に真剣に勉強しているようでした。

娘と同じ大学の学部を希望している学生たちは、通常他の大学や学部等もいくつか受験の候補に挙げていますが、娘の場合はインドネシア大学医学部のみにし興味がなく、もしも不合格であれば1年浪人してでもチャレンジしたいと語りました。もう少し柔軟に考えられないものかと助言しましたが、娘の意思は固く、志望校は一本だけで頑張りたいたいと譲りませんでした。

7月の中頃大学受験の結果発表があります。彼女が希望通りの学部合格できるかどうか、親として大変心配に思っています。

KJI(インドネシア)(工場長:S.Akhyar)

~しっかり分けないと罰金も~

鍋は回収ゴミ、白髪染容器は有害ゴミ、髪の毛は乾燥ゴミ。7月1日から上海ではゴミの分別が正式に義務化されました。市民や企業には分別の一覧が配布され、しっかり分けないと罰金が科せられることもあるそうです。個人では50元~200元、企業では5,000元~5万元(1元=約16円)なので安くはありません。

通常の生活ゴミは4つに分類されています。回収可能ゴミ、有害ゴミ、生ゴミ、乾燥ゴミの4分類です。市内各所にも色分けされたゴミ箱が設置され、今後徐々に認知されていくのでしょうか。しかし導入にあたりこの分別がわかりづらいと不満の声も出ています。確かによく見ると「このゴミはどっち?」と迷いそうです。回収可能ゴミには段ボールもあれば瓶、空き缶、爪切り、ハンガー、まな板、シーツ、鍋、鏡など実に広範囲で本当にリサイクル処理が可能なのかと思ってしまう。

全国的に環境意識が高まる中、蘇州を含む他の都市でも順次正式に施行されていく方向ですが、わからないときは『豚の基準』という滑稽な話も飛び交うほどです。『豚が食べるものは生ゴミ、食べないものは乾燥ゴミ、食べて死んでしまうものが有害ゴミ、売って豚と交換できるものが回収可能ゴミ』というわけです。

なるほどこれはわかりやすい?

KHE(中国・蘇州)(総経理:山本 博史)

日本では梅雨の季節に入っている頃かと思います。ここ南カリフォルニアは例年になく寒い毎日です。寒いという表現はちょっと大げさですが、朝晩は12、3°Cで乾燥しているせいか、体感温度はもっと低く感じます。最近は大体昼まで曇っていて午後になると日差しが強くなり23°C前後になります。そうなると体感温度は30°Cくらいになります。オフィスでは朝は暖房、昼からはエアコンがかかっている状態になります。さすがにこのような状況では体に良くないと最近によくジムに通うように心がけています。

単身の私は週末、ゴルフをすることが多いですが、気候の良い今は山登りも機会があれば出かけています。ここオレンジカウンティは海が近いのでマリンスポーツが盛んですが、たくさんのトレッキングコースがあり、初心者からエベレスト登山を目指しているようなベテランの

方々まで楽しめる様な場所がたくさん存在します。中にはトレッキングコースというよりはファミリーパーク的な場所もあり、ハイキングは勿論のこと、バイクロードなどがあり、自転車に乗って景色を楽しむ事もできます。管理局がある所には展望台や、周辺の生き物を展示した博物館のような場所もあります。

多分、他の場所で山登りの訓練をしているんだろうと想像できる人たちもたくさんいます。重い物を担いだり、タイヤを引っ張ったり訓練していますが、見ているだけで苦しくなりそうです。とにかく晴れの日には日差しが強いで余計大変そうです。

私自身は初心者なので時間をかけてゆっくり上りますが、やはり展望台からの雄大な景色は最高です。

KCS(アメリカ)(COO:板垣 仁志)

店外で購入した飲食物はレストランに持ち込まないのが常識だと理解していますか?

最近、私は日本のラーメン店が、外国人観光客のために繁忙期は日本人の来店を拒否すると述べた記事を読みました。日本人観光客が、外で購入した食べ物を店内に持ち込んだり、食事が終わった後も席を離れず、滞在時間が不必要に長かったことなどが理由です。

以前私はバンコクの観光市場にある小さなラーメン店を訪れました。市場は非常に混雑しており、この店もそうでした。お客様にできるだけ多くの料理を提供するため、シェフはホールで忙しく働いており、20分ほど待つようやく席に座ることができました。

私たちのテーブルの横には『店外の食べ物を持ち込んで飲食した場合、100パーツ(US\$3.24)の罰金を科します』の大きな看板がありました。ラーメン1杯の価格は200パーツなので、これと比べても罰金はそれほど高価ではありません。しかし、提示されている以上はマナーとして守らなければなりません。

このように穏便な方法で皆がマナーを守ってくれればよいですが、なかなかそうはいかない時もあります。その場合は、ルールを理解してもらうため、厳しい方法を取ることも止むを得ないでしょう。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

~ブダペスト ハンガリー~

5月にお客様であるバルディが展示会を開催したため、ハンガリーのブダペストを訪問しました。ブダペストは観光都市でとても歴史があり、世界中から多くの外国人がこの街を訪れます。ドナウ川という名前がよく知られている川がこの街を流れています。

この展示会の期間中、私たちはバルディから招待され、他のアフターパーツメーカーの方々と一緒にボートで素晴らしいクルーズとディナーを楽しみました。クルーズ中、ほとんどすべての観光地がドナウ川の傍にあるため、観光することができました。

ボートはブダペストの6つの橋の下を航行します。その間に最も有名な光景を見ることができます。それは、セーチャーニ橋・ブダ城・キャッスルヒルの漁夫の砦・そして壮大なゲツレルト山です。

このクルーズは3~3時間半かかります。まだ明るいうちから始まり、戻ってきた時には暗くなっていました。夜には建物も明るくライトアップされています。

また、食べ物は代表的なハンガリー料理で、大変おいしかったです。とても素敵でとても良い経験でした。

KIO(オランダ)(Jan van Mier)